

宇都宮市大通りにぎわいまつり (トランジットモール社会実験)

調査報告書



平成 19 年 3 月

大通りにぎわい交通まちづくり実行委員会

宇 都 宮 市

ま え が き

宇都宮市の中心市街地の空洞化につきましては、市民全体の問題としてこれまでも再三議論がなされ、行政と民間が連携し様々な取組みがなされてまいりましたが、依然として深刻な状況にあります。

この中心市街地の空洞化を解消し活性化していくためには、市民が真に求めている都市機能や、あるべき姿を再認識するところから、取組みを始めていく必要があると考えております。

今回、中心市街地のあるべき姿について、公共交通の観点から具体的に検討するため、二荒山神社周辺地区の大通りにおいて「トランジットモールの社会実験」を実施し、大通りの自動車交通を制限した場合の商店街や周辺道路への影響等の検証を行いました。

この実験では、多くの市民の方々が家族連れで来場し、それぞれのイベントが大いに盛り上がりと同時に、参加された商店街関係者をはじめ多くの方々からご賛同をいただき、本当に実施してよかったと実感しております。

実験で得られた成果につきましては、今後の中心市街地の新たな魅力づくりや、LRT導入など総合的な公共交通ネットワーク整備の検討に十分活用いただき、中心市街地の活性化、そして宇都宮市の持続的な発展につなげていただくことを期待しております。

最後に、実験の実施にあたってご協力いただいた、地元商店街を始め大型店舗、地元自治会、バス事業者など関係機関の皆様に厚くお礼申し上げますとともに、栃木県警交通規制課や宇都宮中央警察署、宇都宮土木事務所の皆様のご助言・ご尽力に対し、深く感謝申し上げます。

平成19年3月

大通りにぎわい交通まちづくり実行委員会

委員長 中津正修

目 次

1. 社会実験実施に至る背景

(1)背 景	1
(2)対象路線の位置	2

2. 社会実験の内容

(1)実験の目的	3
(2)実験の位置づけ	3
(3)実験の実施概要	4
(4)実験の検討・実施体制	5
(5)調査項目と評価内容	7
①アンケート調査	
②交通量調査	
③大気環境調査	

3. 実験結果

(1)実験の状況	9
(2)アンケート調査	20
①来街者アンケート調査結果	20
②シャトルバス・C&BR・C&BR 利用者アンケート調査結果	28
③商店主アンケート調査結果	34
④交通事業者アンケート調査結果	44
⑤警備・誘導員ヒアリング結果	50
(3)交通量調査	52
①自動車交通量調査結果	52
②渋滞長調査結果	58
③旅行速度調査結果	68
④歩行者交通量調査結果	70
⑤バス定時性調査結果	73
⑥シャトルバス・C&BR・C&BR 利用状況調査結果	74
(4)大気環境調査	76
①二酸化炭素(CO ₂)	
②その他	
(5)調査結果のまとめ	78

4. 今後の取り組みの方向性

(1)トランジットモール化の実現に際しての視点	84
(2)トランジットモール化の推進に係る個別検討事項	85
【 参考資料 交通流解析手法を用いたトランジットモール化の検討 】	86

資 料 編	87
-------------	----